

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	建築・デザイン演習Ⅱ						
科目区分	専門科目	単位数	3	開講時期	1年次後期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)／必修科目(建築コース)／必修科目(デザインコース)						
担当者	小池 博・飯田 一博・佐野 正樹						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築空間表現のための基礎的な能力を修得する。(A7) ・建築空間の構想から設計までの問題発見と、スケッチ、図面、模型などの基礎的表現法を身に付ける。(B6) ・自らの構想を表現手法をとおして展開していく基礎的な能力を修得する。(A6) 						
日程と内容	<p>第1回(9/17)：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、演習課題発表 演習課題01：スケッチと寸法習作</p> <p>第2回(9/24)：演習課題02：建築図面と模型の製作 『配置図・平面図』</p> <p>第3回(10/1)：演習課題02：『断面図・立面図』</p> <p>第4回(10/8)：演習課題02：『アクソメ図』</p> <p>第5回(10/15)：演習課題02：『模型制作・模型写真撮影』</p> <p>第6回(10/22)：演習課題02提出</p> <p>第7回(10/29)：設計課題：町屋の空間計画～店舗付き2階建て住宅の設計 『空間イメージ・コンセプト』</p> <p>第8回(11/12)：設計課題：『スタディ模型』</p> <p>第9回(11/19)：設計課題：『模型写真撮影・レイアウト』</p> <p>第10回(11/26)：設計課題：『平面図・断面図』のエスキス</p> <p>第11回(12/3)：中間発表</p> <p>第12回(12/10)：設計課題：『平面図・断面図』の作図</p> <p>第13回(12/17)：設計課題：『最終模型』の製作</p> <p>第14回(12/24)：設計課題：『模型写真撮影・アクソメ図』</p> <p>第15回(1/14)：設計課題提出 & 最終プレゼンテーション</p>						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション		10%	
	課題	70%					
	演習	20%		計		100%	
授業到達目標の達成度	今年度の本科目の合格率は89%であった。課題は3つ用意したが、すべての課題を提出しながらも、時間外提出あるいは課題の完成度の低さにより不合格となった学生が2名いた。ほかの学生のほとんどは、課題を追うごとに技術の進歩が見られ、設計者としてはまだまだ稚拙ではあるが、概ね到達目標を達成することができた。						
反省点	約100名の履修者のうち、製図の経験者もあり、特に製図の経験値に大きな個人差が見られた。また、ほかの学生の課題の完成度や、設計課題における発想などが経験値を上げるために重要と考えられるため、ある程度、生徒間同志での話し合いや助け合いを認めることとした。その一方で、教室が騒がしくなることがあり、そのバランスを取る事が難しかった。 また私を含め3名の指導教官で講義にあたったが、細かい部分で指導内容が異なり、一部の学生に混乱を与えて						
来年度の計画	第1、第2課題は完成参考図を与えたが、設計課題である第3課題でもなんらかの形として参考図を与えた方がよいかの検討が必要である。授業時の教室内の環境については、もう少し厳しく監視する方向へ修正したい。指導教官による指導内容の違いについては、明らかとなった内容に関しては修正を試みる。						
授業評価アンケートに対するコメント	100名以上のレベル差のある学生を同時に指導しなくてはならなかったが、3名の講師陣により、できる限り個別に指導を行ったことが、極めて学生の良い評価につながったと思われる。一方で、反省点でも挙げているが、講師により若干の意見の違いが見られたため、ある講師にはOKをもらえた案が、ほかの講師でNGとなった事例があり、それが、極めて少数ではあるが、否定的な評価へとつながったと思われる。 雰囲気に関しては、静かにひとりでこつこつと課題をやりたい学生にとってはあまりいい環境ではなかった可能性はある。そのあたりも含め、より決めの細かい指導を心がけたい。						
履修登録者数	106名	定期試験 受験者数		合格者数	94名	合格率	89%